

The Smile



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 330-B JAPAN



能登半島地震発生後、全国および地区内でも直ちに各クラブが災害支援募金活動を開始した

● 藤沢湘南L.C



ガバナーテーマ

「Changing the World」

世界を変える



● 相模原シティL.C

パーソナルテーマ

情熱と真心

サブテーマ

～明るく!楽しく!元気よく!～

ライオンズクラブ国際協会330-B地区

(神奈川県・山梨県・伊豆大島)

<http://www.lions330-b.gr.jp/>

ライオンズクラブ国際協会は世界209の国または地域、135.8万人のメンバーを擁する世界一の奉仕団体です。

We Serve



2023~2024年度
国際会長テーマ

「Changing the World」 世界を変える

国際会長

パティ・ヒル L



CONTENTS

- 1 ガバナーズメッセージ
- 2 330-B地区新年賀詞交歓会
- 4 第1・第2副地区ガバナー
年頭のご挨拶
- 5 次期地区ガバナー、第1・第2
副地区ガバナー立候補受付
- 6 新年賀詞交歓会
- 1・2・3R合同/4R/6R/8R/9R
- 10 オール山梨 新年賀詞交歓会
- 11 8R「献血・ホームページ
セミナー」開催
- 12 ライオンズクラブ役員・
赤十字血液センター合同会議
- 13 LCIF MJF 献金者報告
- 14 YCE・国際協調委員会活動報告
- 15 小児がんの子どもたちへ
ウィッグをプレゼント
- 16 横浜寿LC結成50周年記念式典
- 17 山梨県臓器移植に関する研修会
- 18 Step Forward 支援金を活用して
甲府中央LC/川崎リパティLC/
川崎翼LC
- 20 小田原白梅LC・早稲田大学
科学コンテスト
- 21 クラブレター
相模原シティLC/藤沢湖南LC/
横須賀北LC/川崎島島LC/
伊豆大島LC
- 24 編集後記

ガバナーテーマ

「Changing the World」

世界を変える

パーソナルテーマ

情熱と真心

第59代地区ガバナー

L 石田 真一

(4R-1Z 川崎臨海LC)



●新年賀詞交歓会で年頭の挨拶を述べる
石田ガバナー

この度の令和6年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の誠を捧げます。いまだ安否不明の方々、避難を余儀なくされた方々が多数いらっしゃると思われまします。一日も早い救援と復興を心よりお祈り申し上げます。

令和6年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

上半期は皆様の温かいお心遣いとお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

私の任期もあと下半期を残すところとなりました。上半期不十分でありました会員の維持・獲得、また地域社会への奉仕活動を改めて考えさせていただき、皆様とともに一歩でも前に進め、次期の倉田ガバナー期に引き継げるよう一生懸命に務めさせていただきます。

お陰様で12月末の会員数は48名の純増、LCIFへの寄付は366,808ドルになっております、メンバーの皆様へ感謝を申し上げますとともに引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。下半期は次期また将来へ向けた各委員会のセミナー等を多数企画しております。詳細は各クラブにお知らせをさせていただいておりますので、積極的にご参加ください。

新しいところでは、3月4日FWT委員会によって開催される「女子セミナー」であります。女性会員による座談会形式にて行われるセミナーになっておりますので、女性会員の方々におかれましてはこの機会にお集まりいただき女性目線でのライオンズを語り合っていたいただきたいと思います。

奉仕(GST)委員会によるシンポジウム、こちらは2月26日に横浜、3月25日山梨にて開催。大学生ボランティア団体とのパネルディスカッションを行い、若い世代の視点や価値観、運営方法などを話し合います。ぜひ、自クラブの将来に向けてのヒント・変化を見つけていただけると幸甚です。

2つを紹介させていただきましたが、他委員会のセミナーにもぜひとも参加をお願い申し上げます。

私たちキャビネットも下半期『情熱と真心』を持って明るく楽しく元気よく、務めさせていただきます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



1月22日(月) 於: 横浜ベイホテル東急 新年賀詞交歓会



●新年の挨拶をする石田ガバナー



●LCIF 国際会長感謝状を拝受する北見会則副委員長



●前年度LCIF地区献金額50万ドル以上達成アワードで表彰された中澤前ガバナーと櫻井地区LCIFコーディネーター。櫻井コーディネーターは年間5,000ドル以上寄付し、LCIF国際理事メダルも拝受された

2 023~2024年度の新年賀詞交歓会が、1月22日(月)16時30分から横浜ベイホテル東急で開催された。倉田雅史第1副地区ガバナーの開宴の言葉から始まり、国歌斉唱・ライオンズヒム斉唱の後、物故ライオンとともに、令和6年元旦に発生した能登半島地震で亡くな

られた被害者の方へ黙祷を行った。
石田真一地区ガバナーの新年の挨拶では、冒頭に令和6年能登半島地震による被災者への哀悼の意を表し、一日も早い復興のために被災者の方への義援金の募金呼び掛けた。その後、半年間のキャビネットへの協力の感謝と、後半の行事予定を紹介

しながら、改めての協力を呼び掛けた。続いて、中澤一浩前地区ガバナー・名誉顧問会議長は、本年が昭和99年にあたることに触れ、これから平成生まれのメンバーが増えていく中の会員拡大について語り、後半戦の石田キャビネットへの協力を呼び掛けた。その後、石原英司LCIFサブ



●4・5Rのメンバーからは第70回地区年次大会と、記念アクティビティ「稚魚の放流」の参加が呼び掛けられた



●アトラクションは大和artisticクラブ支部のメンバーによる演奏 ●FWT委員会の活動PR



●佐藤元ガバナーのライオンズ・ローア

エリアリーダーがプレゼンターとなり、アワードの表彰が行われた。

鏡開きは、石田ガバナー、中澤前ガバナー、倉田第1副ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナーとともに、元地区ガバナーの皆様が登壇され、乾杯は安達成功元地区ガバナーの発声で行われ、和やかな歓談が始まった。

アトラクションでは、大和artisticクラブ支部のメンバーによる演奏を楽しんだ。

その後、委員会PRがあり、ライオンズ・ローアは、佐藤精一郎元地区ガバナーをはじめとする役員の方々が登壇し行われた。最後に、森川第2副ガバナーの閉宴の言葉では、メン

バーへの御礼の言葉と後半戦のキャビネットへのご協力をお願いする呼び掛けがあり、新年賀詞交歓会は無事終了した。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦

年頭のご挨拶



第1副地区ガバナー
L 倉田 雅史
小田原白梅 LC

330-B地区の皆様、新年あけましておめでとうございます。今期、第1副地区ガバナーを務めさせていただいておりますL倉田雅史です。

新年より能登半島沖地震が発生し、多くの方が犠牲となり、また避難所生活を余儀なくされている被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。私のクラブも早速募金活動をさせていただきました。昨今災害が増えてきておりますので、改めてライオンズクラブの奉仕活動およびLCIFの大切さを痛感しております。

さて、石田ガバナー期も半期が過ぎ、各種セミナーや今期の目標達成に向けて活発な委員会活動が続いております。また、いよいよ私も次期に向けての準備が佳境となっております。国際本部より2027年までに会員を150万人とするミッション1.5が遂行されており、会員増強の必要性をセミナーのたびに言われております。当地区におきましても、今期純増50人を目指して、石田ガバナーを中心にキャビネットを挙げて取り組んでおります。私自身も森川第2副地区ガバナーと話し合い、中期視点での会員増強の取り組みなどを話し合っているところです。しかし、会員増強の活動の中心は各クラブ単位となります。よって、各クラブの会長を中心に前向きに会員増強に取り組んでいただかないことには進まないというのが現実です。どうかもう一度クラブ単位で、将来の奉仕活動の担い手を探すための行動計画を話し合い実践してください。

結びになりますが、各クラブのますますのご繁栄と、会員皆様のご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第2副地区ガバナー
L 森川 吉孝
横浜サンセット 21LC

明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2023 - 2024年度第2副地区ガバナーを拝命いたしました2R-3Z横浜サンセット21LC所属L森川吉孝です。

新年明けてすぐ能登半島で大きな地震があり、多くの方が被災されたことに心が痛みます。ライオンズクラブのメンバーとして多くのメンバーとともに支援を行ってまいりたいと思います。また翌日には羽田で飛行機事故が起き、命を落とされた方がいらっしゃいました。今年は悲惨な天災・事故から始まりました。多くの犠牲者に哀悼の意を表します。

今期石田真一地区ガバナーのもと、第2副地区ガバナーとして活動してまいりましたが、時の過ぎるのは本当に早いもので半年が過ぎました。

前期は多くの研鑽と多くの出会いをライオンズクラブのメンバーの皆様にあidいただきました。この交流・奉仕を通じた経験を活かし、石田真一地区ガバナーのテーマ『Changing the World』パーソナルテーマ『情熱と真心』を胸に、後期もライオンズ活動に邁進してまいります。

ミッション1.5という4年にわたる会員増強を推進する使命をいただき、メンバーの皆さんとともに活動してまいります。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

税は事前の相談が第一歩

「おかげさまで創業48年」

吉本会計事務所

所長・税理士 吉本 晴夫
(藤沢中央ライオンズクラブ所属)

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町1-1-17 プレール湘南辻堂1401
TEL 0466-36-8742(代表) FAX 0466-35-5001 E-Mail yosimoto@aria.ocn.ne.jp

2024
2025
年度

地区ガバナー・第1および第2副地区ガバナー 立候補届出書受理式

2月6日(火) キャビネット事務局



●次期地区ガバナー立候補者 倉田L



●次期第1副地区ガバナー立候補者 森川L



●次期第2副地区ガバナー立候補者 内藤L



●立候補届出を受け、指名委員会による資格審査が行われた

前日の15時頃神奈川県全域に大雪警報が出され、19時には首都高速道路や幹線道路が通行止めになった。積雪による交通網の規制が心配された立候補届出書受理式だったが、予定通りキャビネット事務局にて厳粛に執り行われた。

時限10時30分、倉田雅史第1副地区ガバナー(6R-1Z小田原白梅LC所属)が秋山隆一郎会長(小田原白梅LC)、大滝靖生(特別)次期政策、短期ビジョンR・Z検討委員長らと来局。第60代330-B地区ガバナー立候補者としての抱負と高志を述べ、石田真一地区ガバナーに届出書・経歴書・所信表明書を提出した。

時限11時、次期第1副地区ガバナー立候補者として森川吉孝第2副地区ガバナー(2R-3Z横浜サンセット

21LC所属)が須賀智之会長(横浜サンセット21LC)と亀井真司元地区ガバナーとともに来局。時限11時30分、次期第2副地区ガバナー立候補者として内藤修也330複合地区財政問題検討委員会委員(11R-1Z笛吹LC所属)が石原英司LCIFサブエリアリーダーMD330・333、中澤一浩前地区ガバナー・名誉顧問会議長とともに積雪の中、5時間かけて来局。それぞれの立候補者は抱負と決意を述べ、立候補届出書・経歴書・所信表明書を提出した。

これを受け、西川実選挙委員長は選挙について、選挙公示日3月19日(火)、選挙運動期間は4月18日(木)までとする、選挙期日は4月19日(金)、第70回地区年次大会代議員会において実施する旨説明し、石田地区ガバナーが提出書類を確認し受理した。

13時より指名委員会が開催され、立候補者3名の資格確認が行われた。

石田真一地区ガバナー、出川溪二キャビネット幹事、谷井弘樹キャビネット会計が同席の上、石橋昭仁指名委員長と岡美佐子同委員らによる指名委員会が開催され、ライオンズクラブ国際協会会則および国際付則第9条第4項「地区ガバナー立候補の資格」、国際付則第9条第6項(b)「第1副地区ガバナー」、国際付則第9条第6項(c)「第2副地区ガバナー」の選出規定に則り、各立候補者が有資格者であることを確認し、候補者として確定された。

取材：地区ニュース

アドバイザー L中井 弘明

撮影： //

// L近野 照彦



新年賀詞交歓会



1・2・3R 賀詞交歓会

1月24日(水)18時よりホテルプラム横浜において、1R・2R・3R合同新年賀詞交歓会が180余名の参加者で5年ぶりに盛大に開催された。

新型コロナウイルス5類への移行により、コロナ禍前と同じ制限のない状態での開催に、開会前から活況を呈した中、笠井政記1RCのゴングにより開会した。

令和6年元旦に発生した能登半島地震により、亡くなられた被害者の方へ哀悼の意を表し黙祷を行い、一日も早い復興のために被災者の方への義援金の募金を、会を通じ行った。

富弥克司2RCは新年の挨拶の中で、台湾より25億6,000万円の寄付金を贈られたニュースに触れ、感謝の気持ちを述べるとともに我々もより多くの義援金を送ろうと募金を呼びかけた。

伏見 龍元国際理事はそれを受け、台

湾からの寄付で心が温かくなったと話し、日本は天災がいつどこで起きてもおかしくない、私たちも助け合っていかなければならないと話した。

続いて、石田真一地区ガバナーより挨拶があり、半年間計画通り順調に推移したことへの感謝と、後半の半年間も多くの行事が予定されており、引き続きのご支援ご協力を呼び掛けた。

次に小山正武元地区ガバナーより、会員増強についての呼び掛けと、会員数の情報がホームページに掲載されているので、確認して活動につなげてほしいと呼び掛けた。

閉会のゴングを小山信之3RCが行い合同例会を終了した。

懇親会は福本行雄2R-1ZCの開会の挨拶で始まり、倉田雅史第1副地区ガバナーは、義援金募集や各クラブの地道な活動を一つ一つ充実させることが、会員増強につながっていくと話した。

続く鏡開きはピアノの生演奏の中行

われ、いつも以上に雅やかな鏡割りとなった。また、懇親会でも終始ピアニストの中野雅子さんの演奏が流れ、会場全体を華やかな雰囲気でも盛り上げてくれた。

森川吉孝第2副地区ガバナーの乾杯の挨拶で会食が始まった。5年ぶりの懇親会は、和やかにそして大いに盛り上がり各テーブルでの懇親も深まった。名残惜しい中、「また会う日まで」を手をつないで行えることを喜びながら斉唱し、ライオンズ・ローアを行った。

最後に小笠原政憲3R-1ZCの閉会の言葉で閉宴となった。

なお、会を通じて行われた義援金は合計201,200円となった。多くのご支援ご協力ありがとうございました。

取材：地区ニュース

委員 L石川 ゆう

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦



●いのちの電話基金贈呈



●竹内4RC

4R 賀詞交歓会

1月17日(水)川崎日航ホテルにおいて4R-1Z・2Z合同新春賀詞交歓会が、多数の来賓と4R内のクラブメンバー参加のもと盛会に開催された。

第1部式典では、来賓ならびに地区役員・参加クラブの紹介後、勝俣圭司4R-1ZC、佐藤文哉4R-2ZCより、それぞれ新年の挨拶があり、「上半期のアクティビティへの協力と活動に対するメンバーへの感謝」の言葉とともに、「下半期はさまざまな課題に取り組み、

より良い4Rにしていこう」との言葉があった。

来賓挨拶では石田真一地区ガバナーより「上半期の活動に対する感謝」の言葉と「地区年次大会への積極的な参加」の願いがあり、竹内成治4RCからは、石田ガバナーの地元である川崎で行われる「地区年次大会での各関係者の協力」と「国際大会への参加と早めの登録」の願いが述べられた。

来賓祝辞に続いて、竹内RCより関係者に4Rチャリティーゴルフ大会で集まった「いのちの電話基金」の贈呈が

行われた。

第2部 祝賀会は、オープニングアトラクション・開宴の言葉の後、川崎臨海LC内藤尚剛会長の乾杯の発声で始まった。

歓談中に行われたラッキーカード抽選では豪華な賞品が用意され、会場では歓喜の声、落胆の声が聴かれた。

会場内では、他クラブのメンバー同士が交流を図る姿が多く見られ、有意義で楽しい新年の交歓会となった。

取材・撮影 地区ニュース

委員 L徳永 博之

そば粉・各種乾麺・お菓子他
ホームページからも購入できます！

クリック！

小売り
いたします

セ印そば粉製造本舗

久津間製粉株式会社

本社：小田原市久野2358 ☎0465(34)1157
横浜営業所：横浜市旭区今宿西町224-2 ☎045(954)2357
<http://www.kutsuma.co.jp>

新年賀詞交歓会



●6R



●田代6RC



6R 賀詞交歓会

1月29日(月)18時より湯本富士屋ホテルにおいて、6R-1Z・2Z新年賀詞交歓会が開催された。

まず、明德学園相洋高等学校和太鼓部による力強い演奏が会場を盛り上げる。そして能登半島地震被災者に対するの黙祷。受付には募金箱が設置され出席者からの寄付を募った。

石井時明6R-2ZCの開会の言葉で始まり、田代哲也6RCからのご挨拶。

倉田雅史第1副地区ガバナーからは「このような会を通して少しずつ顔を合わせる機会が増えてきた。顔を合わせることでライオンズクラブの活性化につながる。来年に向けて1人でも多くの新入会員を勧誘し、会員増強に向けて盛り上げてほしい」と話された。

続いて出川溪二キャビネット幹事、佐藤精一郎元地区ガバナー、久津間康

允元地区ガバナーよりご挨拶をいただいた。皆様ご挨拶の冒頭では、能登半島地震被災者へのお悔やみお見舞いの言葉を述べられていた。

各委員会報告の後、佐藤友子Lの乾杯により懇親会がスタート。美味しい料理とお酒を飲みながらの歓談。そしてラッキーカードの抽選ではたくさんの景品があり、盛り上がりは最高潮に達した。

最後にRC、ZC、各クラブ会長によるライオンズ・ローアが行われ、廣枝了三6R-1ZCの閉会の言葉で終了した。

本日の能登半島地震被災者への募金額は163,170円であった。

取材:地区ニュース

副委員長 L田村 博

撮影: //

委員 L高杉 昇

8R 賀詞交歓会

1月29日(月)8R-1Z・2Z・3Z新年賀詞交歓合同例会がレンブラントホテル東京町田にて行われた。

18時からの合同例会は太田修二8R-1ZCの開会の挨拶から始まり、国歌・ライオンズヒム斉唱、能登半島地震の犠牲者・物故ライオンに対し黙祷を行った。出席者紹介の後、石田真一地区ガバナーより「ご挨拶の前に太田ZCからもお話がありましたが、この度の能登半島地震にて亡くなられた方に謹んで哀悼の誠を捧げます。ライオンズクラブからはLCIFにて10万ドルが緊急支援金として明確に迅速に公平に被災地に支給されています」と話があり、続いて今後の主な地区の行事予定が発表された。コロナ禍中から大きく変わり、各委員会、キャビネットの行事が多数行われるとのことであっ



● 8R ロア



た。続いて木藤晴彦8RCより「本日はお帰りにRC、ZCで募金箱を持ちますので募金をお願いします。また、8Rの各Zで2月18日(日)に街頭募金を行います。ここから6月までリジョン内の周年行事、各事業が目白押しです。リジョンとして盛り上げて頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします」と語られ、リジョン内17クラブの会長が一言ずつ挨拶をされ、木本 洋8R-2ZCの閉会の挨拶で例会は締めくくられた。

第2部の合同新年会は清水紘二郎8R-3ZCが「本日は看板も花もありません。その分被災地へ送って新年会では8Rの話の花を咲かせてください」と挨拶され、吉本晴夫元地区ガバナー・日本ライオンズ執行理事、阿部英明元地区ガバナーよりご挨拶をいただき、森川吉孝第2副地区ガバナーの発声で乾杯を行った。

アトラクションの後は委員会報告、各クラブのPRタイムを行った。コロナ禍が明けたのもあるが「新生8R」を改めて感じるPRの多さであった。

RC、ZC3人のライオンズ・ローアの後には「また会う日まで」を大きな輪になって行い、最後に辻井祐幸8RSが「新生8Rになって人数が増えてどうなるかと思いましたが、これだけの人数の方に集まっていただき感動しました」と閉会の挨拶をされた。

取材・撮影：地区ニュース

副委員長 L野田 寛

9R 賀詞交歓会

9Rの新年賀詞交歓合同例会が、1月30日(火)18時からメルキュールホテル横須賀において開催された。

村松仁志9R-1ZCのゴングにより開会した。国歌斉唱・ライオンズヒム斉

唱の後、物故ライオンへの黙祷とともに、令和6年元日に発生した能登半島地震により、亡くなられた被害者の方へ黙祷を行った。

服部忠男9RCの挨拶では、前期の活動を振り返り、Drパーティ・ヒル国際会長のミッション1.5活動に触れ、9Rでのメンバーの純増とアクティビティの順調な推移に対し、メンバーに感謝の言葉を述べた。

9Rでは、地元の青年団体とのコラボレーションによるアクティビティが多くあり、今回も(公社)横須賀青年会議、横須賀商工会議所青年部、横須賀青年八日会などの団体の責任者も列席していた。同じ地域に根差す団体として、ライオンズクラブの伝統と知見と若い力が融合する今後のアクティビティが期待される。

取材・撮影：地区ニュース

委員長 L石井 光一



オール山梨 アピオ甲府 新年賀詞交歓会開催



1月15日(月)アピオ甲府にて、第2回オール山梨世話人会に引き続き、オール山梨新年賀詞交歓会が盛大に開催され、110名が参加した。

小尾 武世話人代表の挨拶

「新年あけましておめでとうございますと言いたいところではありますが、元日に石川県能登半島を中心とした大地震があり、考えられない出来事が起きています。被災された方々には、謹んでお見舞いを申し上げます。

昨年は、信玄公まつりの清掃、県民の日に慰霊塔の前において慰霊祭、親睦チャリティーゴルフ大会等が行われました。今年は、5月27日(月)アイバンクか臓器移植のシンポジウムを開催予定です。また、6月17日(月)第3回オール山梨世話人会・新旧合同役員会の予定です。

昨年末12月4日(月)には、オール山梨臨時世話人会を開催しました。議題は次期第2副地区ガバナーを山梨から選出できるようにということで、どの方を輩出したらよいか話し

合った結果、オール山梨としては、笛吹LC所属の内藤修也Lを満場一致で推薦しましたことをご報告します。これからの半期、皆様方にはご協力やらお願いをしますが、よろしくお願いたします」。

続いて、チャリティーゴルフの寄付金と各クラブからの拠出金を(公財)山梨県アイバンクおよび(公財)山梨県臓器移植推進財団への支援金として贈呈された。

石田真一地区ガバナーご挨拶

「能登半島地震では、330-B地区の各地で募金活動が始まっています。LCIFからも大きな金額が能登に送られると聞いております。LCIFから各クラブ1人2,000円を目安に寄付をお願いしたいということを発信させていただきました。こちらは各クラブからまとめてキャビネットに送っていただきまして、キャビネットから各クラブの金額を入力しLCIFに申請いたします。

それでは改めまして、新年おめで

とございます。オール山梨のメンバーの皆さんにおかれましては、穏やかながら輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年7月に国際大会で、中澤一浩前地区ガバナーからエレクトリボンを外していただいて上半期の6ヵ月が過ぎました。思い起こすと、統一奉仕デーから始まりいろいろな事がありました。本当に早く過ぎました。これも一重に皆様のお気遣いとお力添えをいただいたおかげと感謝いたします。ありがとうございます。

これから後半になります。来期に向けてのステップアップをしていかなければいけません。これから先もオール山梨のメンバーの皆さんのお力添えをいただきつつ無事に倉田雅史第1副地区ガバナーに引き継げるよう精進してまいりますのでよろしくお願いいたします」。

最後に、ローアと「また会う日まで」を全員で合唱し、閉会となった。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L長坂 正

大手旅行会社に負けない「無理とこまわり」が得意です！

代表取締役 大貫文夫 / 横浜保土ヶ谷LC所属 在籍41年 (1982年330-B/3R-1Z入会)

【330-B地区 旅行手配実績】 担当させていただきました
2022年第59回 OSEALフォーラム韓国済州島大会
2023年第105回 ポストン国際大会

少人数のグループ旅行から団体旅行まで、1979年創業の豊富な実績とアレンジ力にお任せください

神奈川県知事登録2-397
JTBパートナー店



株式会社 **とらるわん**

TEL:045-335-1213

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-25-9 <http://www.travel1.co.jp>
FAX:045-333-3733 Mail:info@travel1.co.jp 平日10:00~18:00土日祝休

8R「献血・ホームページセミナー」開催される

会場：大和市北部文化スポーツ子育てセンター「ポラリス」

●木藤8RC



●司会の辻井8RS



●菊池赤十字血液センター
事業推進部長



●石塚広報委員長



●益田広報アドバイザー



●脇合赤十字血液センター
事業推進副部長



●神奈川県赤十字血液センターの方々

11月20日(月)17時より8R「献血・ホームページセミナー」が開催された。1部は献血、2部はHPの2時間のセミナーとなった。

辻井祐幸8RSの司会で始まり、太田修司8R-1ZCは開会の挨拶で「コロナ禍で減少した献血はライオンズの大事な奉仕です。これを機に推し進めたいと思います。また、HPについては重要なコミュニケーションツールなのでメンバーと役立ててください」と呼び掛けられた。

続いて講師ならびに関係者の紹介の後、木藤晴彦8RCから「1部は日本赤十字センターの方を講師にお招きして神奈川県献血状況などをお聴きします。2部はHPセミナーです。昨年、地区のHPがリニューアルされた点も含めてお話をいただきます」と主催者挨拶があった。

1部に先立ち、神奈川県赤十字血液センター事業推進部長・菊池裕之様より「献血ルーム開設の時にライオンズクラブに相談なく献血バスの精査を行い、ご協力いただいていたクラブに不快な思いをさせてしまったことがありました。まずはその点についてお詫びを申し上げたい」と謝罪があった。その後、同事業推進副部長・脇谷勇次様が講師となりセミナーが開催された。

神奈川県の献血状況

現在、神奈川県では血液を県内の献血でまかなえていない。

献血可能人口(15才～65才)の推移(減少)

神奈川県では減少は少ない見通しだが、減少分をおぎなうために推進が必要である。

献血会場別の計画達成率

ライオンズの支援会場は赤十字単体での会場よりも達成率が高いのでさらなる協力を求めたい。

その後、湘南事業所事業課長(8Rエリア担当)・斉藤孝之様より献血支援を求めている会場の説明があった。そして輸血を受けた患者さん、ご家族からのメッセージ動画を視聴し質疑応答にて献血セミナーは終了した。

最後に菊池久仁恵糖尿病・四献(献血・献眼・献腎・骨髄移植)副委員長より骨髄ドナー説明員の資格取得勉強会への参加依頼があり休憩に入った。

2部のHPセミナーは益田典彦広報(マーケティング)アドバイザーが講師となり、前半は「HPの基本」として必須条件とトレンド、ライオンズクラブが作る必要性、基本ステップ等を地区HPを使って丁寧に説明された。

前半終了後、清水紘二郎8R-3ZCのショートブレイクが入り、後半は

「HPの制作と運用」について、HP作成の注意点や準備、無料HP作成ツールとサイト更新が簡単にできる有料HP作成ツール(ベイサイドCMS)の紹介があり、質疑応答を行った。2部の最後に石塚丈雅広報(マーケティング)委員長が「一般の方にいかにライオンズクラブに興味を持ってもらうのかをコンセプトに、昨年からは始めて今回は8Rでセミナーを開催させていただいた。地区HPのクラブ一覧のページでは各クラブのHPにリンクするようにしているが、そもそもHPを持っているクラブが少ない。HPではなくてもFacebookを作ってもらえればリンクさせることができる」との話もあった。またHPにはスマイル誌もPDFで掲載されている。

閉会の挨拶として木本 洋8R-2ZCが「献血について、神奈川県が自県でまかなえていないのは恥ずかしいので協力して改善したい。会員増強が求められている中、強力なツールとなるHPが必要なのではないかと訴えられ、閉会となった。

今回は8R単体のセミナーとなったが、参加者の中からは「動画にしていずれも見られるようにしてはどうか」「他のリジョンでも同様のセミナーを開催したほうがいい」との声も上がっていた。

取材・撮影：地区ニュース

副委員長 L野田 覚

ライオンズクラブ役員・赤十字血液センター 2023年11月29日(水) 合同会議

ベルクラシック甲府



●挨拶する辻井糖尿病・四献委員長



11月29日(水)ベルクラシック甲府にて、ライオンズクラブ役員・赤十字血液センター合同会議が行われた。

会議は2部制で行われた。

第1部では、山梨県福祉保健部長・井上弘之様の挨拶の後、石田真一地区ガバナーから「合同会議が開催できたことに感謝します。1人でも多くの献血協力者に来てもらえるように最新の情報を持ち帰ってほしい」とのお話があり、辻井祐幸糖尿病・四献(献血・献眼・献腎・骨髓移植)委員長は「山梨での取り組みを神奈

川へ持ち帰り共有したい」と挨拶された。

会議は糖尿病・四献委員会が進行を務めた。菊池久仁恵同副委員長から登壇者の紹介があり、山梨県赤十字血液センター献血推進課長・川手華与様より「血液事業の現状および今後のお願い」について説明を受けた。

第2部では、飯野広夫同副委員長が司会・進行を務めた。

山梨県赤十字血液センター所長・保坂恭子様が「(泌尿器科からみた)糖尿病のお話」と題して講演した。

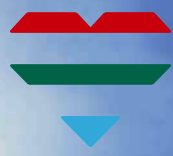
続いて、南アルプスLC河西 久会

長が「南アルプスLCの献血活動の現状について」の事例を発表された。

木下忠義同副委員長から終わりの言葉があり「講演はとても参考になり日々の生活に注意して健康な身体作りを心がけていきたい。事例発表については、とても良い実績を聞くことができた。帰ったら委員会やクラブで報告して共有していきたい。これからも赤十字血液センターと連携して献血活動を推進していきたい」と話され合同会議は終了した。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L中西 将志



CARE WORK

オセアケアワーク株式会社



株式会社資産相談センター

税理士法人資産税務相談センター

代表取締役 神戸 幸男 8R-2Z 茅ヶ崎オーシャンライオンズクラブ所属

〒251-0041 藤沢市辻堂神台 1-3-39 オザワビル 5F 電話 0466-34-1180

<http://s-soudan.co.jp>

資産相談センター

検索

相続
対策

税務
対策

土地
活用

借地
整理



Lions Clubs International
FOUNDATION

2023~2024年度上半期 LCIF MJF 献金者報告

今期上半期には330-B地区全体で366,808.48ドルもの多額の献金をいただきました。皆様より多額の献金をいただきましたことに感謝申し上げます。その中でも個人1,000ドル以上の献金を行っていただいた皆様に称え、お名前をご報告させていただきます。

LCIF地区コーディネーター

L 櫻井 貴裕

LCIF委員会 委員長 L 平賀 新也

1R

板井要二L 足立和夫L 足立幸子L
中野達夫L 加藤道一L 本田久美子L
置田光男L 小山正武L 茅野郁子L
平野孝夫L 豊嶋啓聡L 長岡 正L
秋本りつ子L 武松ひでL 笠井政記L
大谷良子L 北原美智子L 徳永三朗L

2R

古屋雄一L 富弥克司L 浜口伸一L
北見裕之L 高畠祐二L 鳥居 悟L
福本行雄L 酒井誠一L 田中ひろ子L
尾立孝司L 森川吉孝L

3R

松島信之L 坂口瑞典L 横尾厚志L
板垣守寿L 中村克明L 須藤 清L
太田守正L 内田助夫L 保科明彦L
三村勝丈L 坂間伸L 小松和芳L

大泉利夫L 小山信之L 菊池久仁恵L
伊藤 隆L 伊藤順子L 榎木和則L
4R
宮田暢人L 竹内成治L 今村靖晴L
坂本治子L 石田真一L 谷井弘樹L
奥田 孝L 佐藤文哉L

5R

持田和夫L 亀ヶ谷修L 山田眞三L
井田 渉L 長嶋悟郎L 中野潤也L
吉澤章子L 山本直正L 石川友勉L

6R

田中文夫L 佐藤芳織L 下田秀史L
押田吉真L 勝俣好雄L 花田 亮L
石島鉄也L 矢嶋義巳L 石川秀明L
新垣鉄夫L 秋山隆一郎L 大滝靖生L
神山 務L 久津間康允L 久津間裕行L
倉田雅史L 廣枝了三L

7R

梶谷美雄L 鍛代 勇L 坂本英夫L
佐藤明人L 柴田 豊L 平井貴章L
平本明子L 花上康一L 折田賢二L
酒井昌直L 服部 明L 飯田隆明L
桑野 太L 井出 孝L 田村裕久L
長田憲二L 柿谷正期L

8R

佐谷欣一L 木本 洋L 菅原悌三L
田中幸春L 櫻井貴裕L 川添 明L

新信圭介L 荒砥聡典L 吉本晴夫L
木村記章L 石井 進L 芳村 健L
丸山雅樹L 吉田泰之L 渡貫英明L
木藤晴彦L 清水洋子L 阿部英明L
堀内伸一L 藤沢輝夫L 小林隆幸L
鳥居眞弓L

9R

石橋昭仁L 加藤孝次L 蛭田 晃L
石坂太郎L 鈴木 忍L 相原朋広L
土村政春L 杉澤友晴L 濱田 徹L
望月真澄L 押井秀介L 服部忠男L
齋藤 弘L 原田孝志L 村山幸壽L

10R

中澤一浩L 名執文雄L 磯部 昇L
金井彰彦L 平賀新也L 保坂孝夫L

11R

岡部修司L 岩野秀夫L 内藤修也L
横山和幸L 桑原良訓L 石原英司L

※2023年12月31日までに振込完了された方のお名前を記載しております。
※分割での今期MJF達成者やクラブでの1000ドル献金等につきましては下半期分の報告時に行わせていただきます。
※記載順は所属クラブ名のアルファベット順となり、クラブ名は省略させていただきます。

- 自動車硝子 ●ラジエーター修理販売 ●リペア施工 ●テフロンコーティング
- フィルム施工 ●船舶資材販売 ●船舶硝子 ●産業廃棄物リサイクルシステム販売



有限会社
湘南安全硝子

代表取締役会長 濱田 徹

●本社 〒239-0808 横須賀市大津町1-16-43 TEL.046-836-9481 FAX.046-834-3715
●金沢営業所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹69-26 TEL.045-784-8389 FAX.045-784-8391

YCE・国際協調委員会活動報告



●浅草寺にて



●帰国時に見送りのメンバーと記念写真



●小田原城にて

YCE活動は本来冬期・春期・夏期の3回交換事業を行います。しかしながら、コロナ禍の影響もあり約4年間は交換事業を行えませんでした。新型コロナウイルス感染症が第5類に指定されたことにより、今年度の冬期から再開されることとなりました。とはいうもののまだまだ交換人数は少なく、実質的には2024年の春期から本格的にYCE事業が始まることとなります。

これに先立ち、2023年冬期は330-C地区からマレーシアに3名、ニュージーランドに1名の派遣が叶いました。同時にシンガポールから3名のYCE生が11月29日(水)から12月15日(金)までをホストした337複合地区(九州)からの引継ぎで330複合地区に1名、333複合地区に2名が福岡より国内線にて羽田空港に到着しました。



●浅草寺にて

330複合地区には1名とのことから330-B地区のホストファミリーにて受け入れることといたしました。来日YCE生はTAY JIA HUI(女性16歳)さんでニックネームはミッシェル。12月27日(水)の帰国日までの約2週間を半田龍夫副委員長と田中宏明委員の2家族によってホストしていただきました。

中間日の12月21日(木)にホスト引継ぎを兼ねてホテル・ザ・ノット・ヨコハマにてWelcome Partyを開催。YCE生のミッシェル、田中雄一複合地区ガバナー協議会議長、倉田雅史第1副地区ガバナーをはじめ、ベイリー久美子複合地区YCE委員長、岩田耕平YCE・国際協調委員長と委員会メンバー、ホストクラブの横浜みなと一馬車道LC・白石 藍会長と藤

沢ライフLC・中村 巨幹事およびホストファミリーの方々を含む38名にて執り行いました。横浜東レオクラブによるアトラクションも交えて、ミッシェルの歓迎会を和気あいあいと行うことができました。

写真はアテンドした時の観光の様子とWelcome Party時の集合写真です。

YCE・国際協調委員長 L岩田 耕平



●ウェルカム・パーティーをホテル・ザ・ノット・ヨコハマにて開催しました



小児がんの子どもたちへ ウィッグをプレゼント!!

12月20日(水) FWT委員会(鳥居眞弓委員長)は、前年度の年次大会で募った寄付金でウィッグを購入し、神奈川県立子ども医療センターの小児がんセンターを訪問した。

現在わが国では0歳から14歳の子どものうち、1年間に2,000~2,300人が小児がんと診断されている。がんの増殖も速いが、成人のがんに比べて化学療法や放射線療法の効果が極めて高いのも特徴。しかし、副作用である脱毛は子どもにとって大変に辛く、自尊心を傷つける体験だ。治療のためとはいえ、髪のない生活に慣れるまでの間は、脱毛していることで自信がなくなるだけでなく、残念なことに、中傷を受け、いじめに合うこともあるという。



●大倉専従看護師(右)と鳥居委員長

330-B地区では、以前よりヘアドネーションに取り組んでいたが、初めてウィッグという形で贈呈した。今回訪問した、神奈川県立子ども医療センター小児がん相談支援室の大倉貴和専従看護師は、「いろいろなボランティア団体がウィッグを寄贈してくれますが、すぐになくなってしまふ。治療現場ではまだまだ足りていません」と現状を語ってくれた。



鳥居委員長は「ライオンズクラブでは、子どもたちにすぐ活用していただける取り組みを今後も続けていきたい」と決意を語った。

大倉専従看護師は「脱毛に対して病院職員では支援ができない部分がありますが、そこをライオンズクラブさんにご支援をいただき、本当にありがたいと感じております」と謝意を述べた。また、今後の支援の在り方なども意見交換し、有意義な面会となった。

取材・撮影：地区ニュース

委員長 L石井 光一



心と技で未来を拓く 東海ビルメンテナンスグループ

信頼されるソリューション・パートナー企業を目指して

武蔵小杉
musashikosugi

新丸子
shinmaruko

高津
takatsu



魅力ある街の
魅力ある賃貸マンションに
住んでみませんか?

Advanced Home

株式会社アドバンスホーム

代表取締役 山本直正(川崎リパティLC所属)

神奈川県川崎市中原区小杉町1-509-1

マイキャッスル武蔵小杉III 401号室

TEL 044-711-3722

FAX 044-711-3753

MAIL adh@advanced-home.jp

WEB www.advanced-home.jp



横浜寿ライオンズクラブ 結成50周年記念式典開催



11月25日(土)新横浜グレイスホテルにおいて結成50周年記念式典・祝宴を開催いたしました。式典には、石田真一地区ガバナーをはじめキャビネット5役の皆様、スポンサークラブの横浜港南LC、姉妹提携クラブの山形LC、2リジョン内のメンバーをお迎えして盛大に開催できましたこと、心より御礼申し上げます。

式典に先立ちまして、お茶席を設けてウェルカムドリンクとして抹茶と練り切りのお菓子を楽しんでいただきました。

式典では、横浜港南LCにスポンサークラブとして感謝状を贈呈いたし

ました。また、チャーターメンバーの福井則旭L・師岡邦雄Lをはじめ、在籍30年以上のクラブ功労者である加藤琢司L、坂爪捷兵L、石川友章L、熊谷重男Lに感謝状を贈呈いたしました。

50周年の記念アクティビティといたしましては、

1. 横浜市立港南台ひの特別支援学校へ教育支援用自転車等寄贈
2. (公財)日本盲導犬協会へ金一封
3. 少年少女サッカー大会のための優勝カップ寄贈
4. (一社) AOHへエプロン等寄贈を行いました。

祝宴では、神奈川フィルハーモニー管弦楽団からヴァイオリン・チェロ・ピアノの3人(Art de Vivreかながわ)のプロフェッショナルをお招きして、素晴らしい演奏をお楽しみいただきました。

横浜寿LCは、今後とも新しい風を取り込みながら、メンバー同士の強い和の伝統を50年、100年とつないでいく意気込みであります。そして、地域の発展と住民の幸せのために奉仕してまいりますので、今後とも変わらぬご指導を何とぞよろしくお願い申し上げます。

2R-1Z 横浜寿LC 会長 L高島 祐二



岩野

株式会社 岩野 総合食肉販売

代表取締役社長 岩野 秀夫 (笛吹LC)

本社 山梨県笛吹市石和町松本 490-1 TEL (055) 262-2732 (代) FAX (055) 263-3447

山梨県臓器移植に関する研修会を開催



● 挨拶する渡辺山梨県臓器移植推進財団理事長

11月25日(土)山梨大学医学部臨床講義棟小講堂にて山梨県臓器移植に関する研修会が開催された。

(公財)山梨県臓器移植推進財団理事長の渡辺和廣元地区ガバナーは「2020年初めからの新型コロナのパンデミック以来3年間余、感染予防の観点で、臓器移植に関する啓蒙・普及啓発活動が中止を余儀なくされた。しかし、現状コロナの終息とはいか

ないものの、感染症法での位置付けが5類に移行されて対面で開催することができた。新聞報道では、海外での臓器移植の無許可あっせんや刑事事件になった例が記事となっていた。患者さんの切なる願いは理解しなければいけないが、イスタンブール宣言で禁じられている海外に臓器提供を求めるのではなく、移植が必要な患者さんの命は自国で救えるよ

うに、国内の臓器移植の環境を充実していかなければいけない。移植に対する国民、県民の意識の改革を図ることにより、当財団としても今後とも臓器移植推進活動の成果が上がるように努力していきたいと思っている。皆様には財団の存在意義をご理解いただき、ご支援をお願い申し上げます」と挨拶された。

その後、山梨県臓器移植コーディネーター・小林真澄様から「県内における臓器提供状況について」、山梨大学医学部泌尿器科准教授・澤田智史先生から「臓器移植について」の講演が行われた。

講演終了後に質疑応答が行われ、大変有意義な研修会となった。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L中西 将志



営業品目：NC、MCによる精密機械加工、高圧・高真空溶接

諸設備：NC施盤、SL650型他8台、縦型マシニングセンター6台、Tig、Mig溶接設備合計4台

SUN 有限会社 サンテック

代表取締役 森川吉孝

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町14-9 TEL.045-774-1711(代) FAX.045-774-0950
E-mail : suntec@gw1.u-netsurf.ne.jp URL : <http://www.yu-suntec.co.jp/pc/>



Step Forward支援金を活用して ちょっと素敵なアクティビティ!

『春婚』から『秋婚』へ。秋の婚活 Party! 『秋婚』で出会いの場を提供♪

甲府中央LC



山梨県知事が昨年6月の議会で、定住者増を狙い婚姻の奨めを宣言された。

甲府中央LCが50周年記念事業として『春婚』と銘打ち、婚活イベントを開催一歩手前までこぎつけたのが4年前のことであった。忌まわしきコロナに振り回され、一度の延期を経て中止に追いやられたのである。

今期第59期磯部達也会長を筆頭とする執行部がその当時の思いを遂げるべく事業を再開することになり、メンバー数こそ減りはしたものの事業構築へ一丸となって計画を進めたのである。『春婚』から『秋婚』と事業名を変え、山梨県とFM富士様の後援をいただき、対象を28～45歳の

未婚の男女、それぞれ30名を応募目標とした。参加費は男性7,000円・女性5,000円であるが、参加費は全て会場費として充当し、甲斐市にある英国式庭園とイタリアンレストラン併設の素晴らしい会場「キングスウェル」での開催となった。企画・運営費はクラブ負担である。

50日間ほどの応募期間を経て、11月23日(木・祝)男性35名・女性27名の参加で開催した。当日は統一の青いジャンパーのメンバーが会場内のいたるところで活躍する姿が頼もしくもあり、結果を願う思いを楽しみに会場中の皆が一体感のある事業となった。参加者からは「コロナ禍によって出逢いの機会に恵まれず、

ライオンズクラブ主催ということで信頼をもって参加しました」といった声が多く耳に届いた。

4時間におよぶマッチングを終え、結果発表となった。スタッフも受験の合格発表さながらである。結果はなんと6組のカップルが誕生となったが、イベント終了後も余韻からか連絡先を交換する姿が帰りの駐車場まで見受けられた。

地元の人口増および活性化の一助になったのであれば甲斐があるが、あわよくばクラブの会員として、いずれ活動を一緒にできれば最上である。

10R-2Z 甲府中央LC

クラブチャレンジ特別委員長

L寺井 英仁

地元山梨の人と企業を元気にする広告代理店



求人ウエブプラス
国中版 都内版 プラス
【毎週日曜日発行】



アイQジョブ
山梨県最大級の求人総合サイト



山梨情報ポータルサイト
PORTA



あなたのお仕事コンシェルジュ
ジョブコンシェル

●各種広告・印刷物の企画/制作 ●採用・現有社員の適性検査業務「CUBIC」

総合広告代理店
株式会社 武田広告社

〒400-0074 甲府市千塚2-5-17 TEL 055-252-7227 FAX 055-252-7228 <https://www.tkd-ad.co.jp>

大谷戸地区少年野球大会を継続事業に！

川崎翼LC



【実施内容】

●事業名：大谷戸地区少年野球大会

●実施日：2023年11月5日～
12月2日

【事業内容】

川崎市中原区の少年野球チームで練習の成果を発揮する場を提供。

また試合の応援・運営資金の援助を昨年に引き続き行う。

昨年度新事業として立ち上げ、当クラブのアクティビティとして継続しています。地域子供会などで練習している野球チームの成果を発揮する場として、この大会があることを子どもたちが励みにしてくれているようです。

昨年度の10チームから今年度は8チームと参加チームが減少したこと

は残念ですが、雨の日も・強風の中でも練習を積み重ね、心身共に成長している姿を見ると、この奉仕活動に生きがいを感じるところです。

この中から、第二の大谷選手が出ることを夢みて、これからもメンバー一同奉仕という形で応援していきたいと思っております。

5R-1Z 川崎翼LC 会長 L池上 仁

新日本学園の子どもたちにカップ麺とマック券を支給

川崎リバティLC



我々川崎リバティLCでは、以前から(福)新日本学園への支援をしており、さらに前期から新規アクティビティとして、新日本学園教育向上支援という名のもと、子どもたちにカップラーメンの支給を始めました。

この取り組みは、SDGsの貧困をなくそうという課題に対して始めた活動になります。

そして今期もSDGsの目指す持続可能な社会という観点から、引き続きこの新日本学園教育向上支援事業を継続していくこととしました。

また今回、この事業をさらに発展させるべく、マクドナルドの商品券にあたるマックカードを、カップラーメンと合わせて子どもたちに支給しました。

この活動の中、子どもたちのうれしそうなお顔を見られ、こちらもうれしく思うのと同時に、本来あるべき社会のかたちを見たような気がしております。

今後もこの活動が続くことを、切に願います。

5R-1Z 川崎リバティLC

会長 L山本 賀也

甲府市地方卸売市場



株式会社 甲州青果市場

取締役社長
鶴田 一郎

甲府市国母6丁目5番1号 電話 (055) 228-1791 ・ FAX (055) 228-1799

小田原白梅LC・早稲田大学科学コンテスト



昨年12月17日(日)、小田原お堀端コンベンションホールにて「小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテスト」を開催しました。

小田原白梅LCのCN30周年記念事業から誕生した「小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学科学コンテスト」も令和5年で15回目を迎えることができました。

このアクティビティは、「未来の科学者育成」を念頭に、地域の生徒を中心に青少年育成をテーマとした魅力溢れる事業です。この15回の期間で、たくさんの中学・高校生から情熱を感じる素晴らしい作品の応募と知性とユーモア溢れる作品発表が継続されてきました。今までに応募してくれた中学生と高校生、先生をはじめとする学校関係者および保護者の皆

様には、改めて感謝申し上げます。

コロナウイルス感染拡大時には、開催を中止した時もあります。開催方法をフルリモートや一部リモートにした時もありました。



その中でいろいろな意見を出し合って、工夫を凝らし事業を行えたことがとても記憶に残っていますし、職務がお忙しい中、協力していただいた早稲田大学・東海大学の先生たちにも改めてお礼申し上げます。

今回は、諸事情により中学生の部のみの開催でしたが、市立城北中学校、白山中学校、私立サレジオ学院中学校から7組のチームが参加。最優秀賞には城北中学の2年生チームが発表した「ボトルフリップチャレンジⅡ」が選ばれました。どの作品もなかなか大人では思いつかない発想があり、審査員の先生方との質疑応答も大変盛り上がりました。発表を終え、表彰された生徒たちの姿を見たら、こちらの方がさすがしくなりうれくなるそんな良い事業ができたと思います。

ご協力をいただいたメンバーの皆様、ライオンズ関係の皆様、本当にありがとうございました。

6R-1Z 小田原白梅LC

科学コンテスト部会長 L神尾 繁昌



能登半島地震災害義捐金募金活動報告

相模原市・京王線橋本駅コンコースにおいて、1月13日(土)・14日(日)10時より15時まで募金活動を行いました。マスコミ等で災害状況が報告され相模原市民はじめ通行人の皆様方に高い意識があり、大変多くの人に募金をしていただきました。

また、1月20日(土)にも同じ場所ですら献血支援活動とともに再度能登半島地震災害義捐金募金活動を行いました。

募金総額は3日間で887,968円になりました。

2月6日(水)には市役所にて贈呈

式を行い、集まったお金に当クラブの事業費アラート基金積み立てより412,032円分を加えた合計130万円を贈呈いたしました。

8R-3Z 相模原シティLC

前会長 L和田 修房



能登半島地震災害支援金募金を実施

2024年1月1日16時10分に発生した能登半島地震の被災者の皆様を応援したいと、1月第1例会の時にメンバーの間で話題になりました。

堺 勇二藤沢湘南LC会長のもと、1月20日(土)11時～16時まで、湘南モールフィル2Fにて「能登半島地震災害支援金募金」を実施しました。

老若男女問わず多くの方々から熱

いお気持ちをお預かりしました。募金にご協力いただいた高齢の女性から、「応援をしたい気持ちはあるのですが、どこでどのようにすればいいのか分からず困っていました。このような街頭募金をやっていただけてありがとう」と逆にお礼を言われました。ありがとうございました。ライオンズクラブが奉仕団体であるこ

とが認知されているのだと実感しました。

能登半島の自治体の社会福祉協議会等々とお打ち合わせをさせていただき、多くの方々からお預かりした熱いお気持ちは確実にお届けいたします。

8R-1Z 藤沢湘南LC

L金森 行雄





能登半島地震義援金の街頭募金実施

1月27日(土)曇天の下、10時から15時まで京浜急行線追浜駅前にてメンバー10名で募金活動を行った。

募金の看板は、メンバーのボランティア精神で作成してもらい、ライオンズクラブののぼりを設置して4名の通しと交代のメンバーで実施した。

募金を集計すると1万円札が7枚もあり、また数名の小学生が1,000円を寄付してくれて、メンバー一同ただただ感謝、感謝です。

寄付金194,616円は、330-B地区キャビネットよりの依頼の募金と



は別に、334-D地区能登地震災害支援金口座に振り込んだ。

9R-1Z 横須賀北LC 情報委員長
L細谷 修



おしどり会ならびにクリスマス家族例会



川崎田島LCは、12月24日(日)12時より崎陽軒本店にて毎年恒例の「おしどり会」を「クリスマス家族例会」と併せて開催した。

この「おしどり会」(家族例会)は川崎田島LC結成当時から続いており、今回で59回目となる。例会には、石田真一地区ガバナーをはじめとするキャビネット役員、亀井真司元地区ガバナー、竹内成治4RC、勝俣圭司4R-1ZC、4R-1Z内のクラブ会長・幹事が参加した。

はじめに、川又春彦会長は挨拶の中で会長テーマの『今人が未来を創る』を発信され、続いてご来賓の挨拶、アクティビティ発表と続いた。

第2部のパーティーでは、高橋昭一Lの絶妙な司会進行のもと、メンバー家族紹介、お楽しみラッキーカード抽選と、とても楽しい時間を過ごした。特に豪華賞品をゲットされたメンバー家族の笑顔が印象的だった。

2時間強の例会だったが、あっという間に終了時間になった。来年は60回目のおしどり会となる。2024年も「川崎田島LCらしく、楽しく奉仕活動をして、楽しく例会をしたい」、クラブメンバー全員がそう思った例会となった。

取材・撮影：地区ニュース 委員 L徳永 博之



特別養護老人ホーム
フレンド神木

ご高齢者の個別ケアを推進!

社会福祉法人 三神会

神奈川県川崎市宮前区神木本町5-12-15
E-mail w.ida.sanshinkai@wish.ocn.ne.jp



大島町元町霊園と吉谷公園に苗木を植樹



環境保全活動の一環として、大島町の元町霊園と吉谷公園に桜(八重紅大島)の苗木16本を寄贈し植樹しました。

両園は春になるとたくさんの桜の

花が咲き誇り、訪れる方々を魅了してきましたが、老木化した木が多く更新の時期がきていました。

そこで、12月19日(火)に元町霊園に八重紅大島の苗木12本、吉谷公

園に同じく八重紅大島の苗木4本を、町民の憩いの場となってほしいとの願いを込め、植樹を行いました。

6R-1Z 伊豆大島LC

会長 L橋本 慎一郎



橋梁架設工事・耐震、補修工事・土木工事
重量品機器搬入据付工事・一般貨物運送

株式会社 中部

〒409-3813 山梨県中央市一町畑912-1 TEL 055-273-1771 FAX 055-273-1774

賃貸・管理の

専門店



いい部屋さがしのおてつだい

神奈川県知事免許(14)第6566号

(有)太平商事

<http://www.c-taihei.co.jp>

茅ヶ崎駅前 3店舗
本店 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町12-12 TEL0467-82-2063 FAX0467-87-6070
元町 〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町4-39 TEL0467-88-1123 FAX0467-88-1146
南口 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市幸町2-10 TEL0467-84-6655 FAX0467-86-3636
茅ヶ崎グリーンライオンズクラブ所属

山梨県甲府市太田町四一七
TEL・05523352075

和(なごみ)

甲府若葉LC
小尾 武

ひわの園

小松表具店

代表 小松 和 芳
(横浜戸塚中央 LC)
携帯 . 090-4626-0917

〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡 1-31-20
TEL.045-814-5043 FAX.045-814-5047
E-mail. komatu5043@gmail.com



地区ニュース委員会
委員

徳永博之

あけましておめでとうございます。
今年度、地区ニュース委員に就任して、あっという間に半年が過ぎました。初めてのキャビネットへの出向で不安もありましたが、始めてみれば何とかなるもので、委員会のメンバーにも恵まれ、楽しく過ごすことができました。周りの皆様に感謝です。

コロナ禍も終わりが見えて、穏やかな日常を感じられるようになったのも束の間、2024年も年始から驚くことがありました。令和6年1月1日に北陸で大地震があり、多くの人が被災しました。

以前は「戦争」も「自然災害」も「パンデミック」も起こることは知っていたけれど、

心のどこかで自分の周りでは起きないと思っていたし、誰かが何とかすると思っていました。

コロナ禍を経験したせいか、ライオンズに入会して活動している影響か、ここ数年考えが変わりました。「今を大切に生きよう」そして「困っている人たちがいれば、自分たちができる援助をしよう」そんな想いが強くなってきました。

私たちはライオンズクラブに所属しています。同じ想いをもつ仲間がいます。1人ではできない奉仕活動ができます。「今できることをできる範囲でしよう」そんなことを思った年の始まりになりました。

物故ライオン

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます



齋藤 亮L
川崎中原LC
R5.10.10(34才)



山寺 義雄L
蕪崎LC
R5.10.19(98才)



小塚 敏文L
横浜都筑LC
R5.10.24(72才)



本間 義和L
藤沢LC
R5.11.22(71才)



清水 幸夫L
川崎南LC
R5.11.26(69才)



内海 敏郎L
伊勢原LC
R5.11.26(83才)



大場 秀光L
川崎巽LC
R6.1.21(93才)

金子税務会計事務所

所長・税理士 金子 圭賢 (川崎北ライオンズクラブ所属)

〒106-0044 東京都港区東麻布1-3-3 TEL.03-3583-1848・FAX.03-3583-1320

E-mail : keiken@azabutc-kaneko.com



●発行日 2024年2月19日

1・2月号

Eメールアドレス
cab.desk@lions330-b.jp

ホームページアドレス
https://lions330-b.gr.jp/

●発行

ライオンズクラブ国際協会
330-B地区キャビネット事務局
地区ニュース委員会
〒231-0038 横浜市中区山吹町1-7
パークノヴァ伊勢佐木長者町201
TEL.045-334-8670
FAX.045-334-8673

●発行責任者

地区ガバナー 石田 真一
●編集責任者・委員長
2R 石井 光一 (横浜サンセット21LC)
●アドバイザー
1R 近野 照彦 (横浜梅桜LC)
2R 中井 弘明 (横浜シーサイドLC)
●副委員長
6R 田村 博 (秦野LC)
8R 野田 寛 (茅ヶ崎グリーン)

●委員

2R 石原 健 (横浜桜美林LC)
3R 石川 ゆう (横浜泉LC)
4R 徳永 博之 (川崎田島LC)
5R 石塚 静 (川崎巽LC)
6R 高杉 昇 (小田原白梅LC)
8R 渡辺 博士 (大和中央シティLC)
10R 中西 将志 (甲府南LC)
10R 長坂 正 (北社LC)